

授業科目(ナンバリング)	旅行業務エキスパートⅡB (CB224) (実践的教育科目)			担当教員	※川口 祐子 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、総合旅行業務取扱管理者試験受験を目指す学生を対象とし、試験合格に向けてドリルをこなす。この授業の履修者は、国内旅行業務取扱管理者試験に合格（または科目合格）していることを条件とし、「海外旅行実務」「旅行業務エキスパートⅡA」（旧カリキュラム「海外旅行実務Ⅰ」「海外旅行実務Ⅱ」）を履修中および履修済みであること。							①⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	総合旅行業務取扱管理者として、旅行業に関する知識を持つと共に、試験に合格できる能力を持つ。			<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の実力 ・実践演習 ・授業参画 		30% 10% 5%	
情報収集、分析力	総合旅行業務取扱管理者試験の出題問題を分析できる。			<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の実力 ・実践演習 ・授業参画 		20% 5% 5%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	旅行業のプロとして寄与できる。			<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の実力 ・実践演習 		20% 5%	
多様性理解力							
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
模擬試験等による合格圏内の実力 70%、実践演習 20%、授業参画 10%により、総合的に評価する。実践演習は授業内で解く演習問題（小テスト）の得点を加算する。期末試験や期末レポートは行わない。フィードバックは授業中に行う。							
授業の概要							
この授業は、担当教員の旅行会社勤務及び国内・海外添乗員の経験や知見に基づく実践的な科目であり、総合旅行業務取扱管理者資格試験のための授業です。対象試験科目は「海外旅行実務」です（国内合格者は約款が2度目になるので、わかっているものとして進めます）。ひたすら実践演習を行います。問題を解いて間違うのは構いませんが、一度間違った問題は次に間違わないように気をつけましょう。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とします。							
教科書・参考書							
教科書&指定図書：『2024年対策 旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集 4 海外旅行実務』資格の大原 大原出版（株） 『海外観光地理サブノート』（株）JTB 総合研究所 『JTB 総合研究所模擬試験』（2023年度は2回セットで7430円。変更の可能性あり。申込人数で安くなる）（株）JTB 総合研究所							

授業外における学修及び学生に期待すること

試験に向けて計画的に頑張りましょう。一般的に試験合格に230時間～280時間の学習は必要とされています。間違えた場合は、できるまでやり直しましょう。2023年の受験日は10月第4日曜日でしたが、変更の可能性もあります。また、本番の試験前に実施されるJTB総合研究所主催の模擬試験（2回、有料）は出やすい問題が網羅されますので、必ず受験して下さい。試験の英語は英検2級～準1級相当です。英語力は付け焼刃がきかないので、日頃から英文に慣れ親しみましょう。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス	総合旅行業務取扱管理者資格試験についての説明	総合旅行業務取扱管理者資格試験について整理しておく。
2	演習1	海外旅行実務の時差・OAG・MCT・課税額等の計算問題	正確な計算のための規則を確認しておく。
3	演習2	海外観光資源（複合）、航空会社、都市・空港コードの傾向と対策問題	海外観光地理とコードについて把握しておく。
4	演習3	出入国法令と英文読解の傾向と対策問題	出やすい法令や英文について検討する。
5	演習4	海外観光資源（アジア、中東、ヨーロッパ、北米・ハワイ、中南米、アフリカ、オセアニア）の問題	海外観光地理について復習し弱点を補強する。
6	試験5	令和元年度過去問	令和元年度の過去問を解き、苦手なところをチェックする。
7	試験6	令和2年度過去問	令和2年度の過去問を解き、苦手なところをチェックする。
8	試験7	令和3年度過去問	令和3年度の過去問を解き、苦手なところをチェックする。
9	試験8	令和4年度過去問	令和4年度の過去問を解き、苦手なところをチェックする。
10	試験9	令和5年度過去問	令和5年度の過去問を解き、苦手なところをチェックする。
11	試験10	国際航空運賃の問題	運賃計算のルールを整理しておく。
12	試験11	JTB総合研究所模擬試験（A問題）	出やすい問題を網羅した模試に参加する。
13	試験12	JTB総合研究所模擬試験（A問題）の振り返り	模試結果から自己課題を抽出し対策を練る。
14	試験13	JTB総合研究所模擬試験（B問題）	出やすい問題を網羅した模試に参加する。
15	直前対策	試験前のまとめ 頻出事項の整理	時間配分や苦手分野への自己対策を再確認する。